



The Japan Telework Society (J@TS)

日本テレワーク学会 第21回研究発表大会 ～学会創立20周年記念大会～

大会
会期

2019年7月13日(土) 14日(日)

開催
場所

山形県郷土館「文翔館」

山形県山形市旅籠町3丁目4-51

in 山形

本学会は創立20年を迎えます。山形県は今から25年前地域振興を目的に白鷹町・朝日町・山辺町に専用線を活用したテレワークセンターを開設しました。首都圏のサテライトオフィスと共に地方のテレワークがスタートしました。しかしテレワークセンターは県内に普及することなく現在に至ります。

その後のテレワークを取り巻く技術の進展はめざましく、学会創立時のテレワークビジョンは実現されてきています。当時の「SOHOワーカー」「自営型テレワーカー」は、フリーランス・副業・移住の増加、また「コワーキングスペース」の登場で一般的になってきました。

今、雇用と自営、都市と地方の境界は容易に越えられ曖昧になったと言えます。学会が標榜するトランスボーダー社会の姿が見えてきたと言えるでしょう。

20周年を迎える本年、地方・大都市を問わずそれぞれが自立する地域を目指し、トランスボーダー社会の次、次の20年、25年の地方創生を今再び議論できる時が到来したと考えます。

今大会では、シンポジウムとフリーディスカッションの2つのプログラムを一般の方に無料で公開しております。学会員による研究発表も公開された場としておりますので、ご参加をお待ちしております。

日本テレワーク学会会長・大会実行委員長 松村 茂
(東北芸術工科大学)

7月13日(土)

12:50 - 13:50 研究発表

14:10 - 16:30 一般公開シンポジウム

- 基調講演 平尾 清氏 (東北公益文科大学教授)
「新しい地方の働き方とテレワーク」(仮)
- 講演 池田 友喜氏 (一般社団法人日本西海岸計画代表理事)
「LIGHTHOUSE・チャレンジャーの楽園」
- 講演 穴戸 秀雄氏 (株式会社エム・エス・アイ執行役員)
「山形のテレワークを支えるツールと事例」
- 講演 山田 茂義氏 (スタジオ八百萬代表)
「地方活性化とコワーキングスペースの役割」

一般参加歓迎！
一般公開シンポジウム
入場無料・申込不要

7月14日(日)

10:00 - 12:00 研究発表

13:00 - 14:30 一般参加企画 フリーディスカッション
討論テーマ

「テレワークによって地方の働き方改革は加速するのか？」

一般参加入場無料
ご予約も不要で
参加できます！

「研究発表」は学会員による研究成果を発表しております。非会員の方が参加される場合は、別途参加費・予稿集代3,000円を頂戴しております。

主催/日本テレワーク学会

後援/総務省東北総合通信局、山形県デジタルコンテンツ協議会
山形県、山形市、山形新聞・山形放送、東北芸術工科大学、
新しい働き方コンソーシアム

大会プログラム等の詳細はwebページをご覧ください。

<https://www.jats-tw2019.info/>

お問い合わせ

東北芸術工科大学 総務課内 日本テレワーク学会 事務局

〒990-9530 山形県山形市上桜田3-4-5

E-mail jats-enquiry@telework-gakkai.jp